

**今日のトピック 2023年5月の注目イベント**
**FOMCで追加利上げあれば、利上げ打ち止めとなるか**

- 5月は月初に米欧の中央銀行の金融政策決定会合が行われます。まず、2日～3日に米連邦公開市場委員会（FOMC）が開催されます。3月に高まった金融不安が和らぐ中、米連邦準備制度理事会（FRB）がFOMCでどのような決定を下すのか、全世界が注目しています。3月のFOMCで公表された政策金利見通し（ドットチャート）によれば、利上げはあと1回（0.25%）で終了する見込みとなっています。今回0.25%の利上げが実施されれば、FRBの利上げが打ち止めとなる可能性があります。
- 欧州では、4日に欧州中央銀行（ECB）の理事会が行われます。ECBは、高止まりしている食品価格やコアインフレを抑制するため、当面利上げを継続するとみられます。利上げ幅に加え、先行きの金融政策の指針を示すフォワードガイダンスがどのようになるか注目されます。
- このほか、主要7カ国首脳会議（G7サミット）が広島市で19日～21日に行われます。日本での開催は7年ぶりで、今回サミットではG7以外の8カ国も招いて拡大会合が開かれます。ウクライナ支援や対中政策に加え、脱炭素社会の実現、経済や食料の安全保障の強化などが主要議題となります。また、官民で活用の動きが広がる「チャットGPT」に代表される「生成AI」も議題に上がる模様です。

**【各国・地域の経済指標、金融政策決定会合等イベントの予定（2023年5月）】**

米国	欧州	中国・アジア・その他	日本
1日:4月全米供給管理協会(ISM)製造業景況指数 <b>2-3日:FOMC</b> 3日:4月ISM非製造業景況指数 4日:3月貿易収支 <b>5日:4月雇用統計</b> <b>10日:4月消費者物価指数(CPI)</b>	2日:ユーロ圏4月CPI <b>4日:ECB理事会</b> 5日:ユーロ圏3月小売売上高	2日:豪州金融政策決定会合 3日:ブラジル金融政策決定会合 4日:中国4月財新製造業PMI 5日:中国4月財新非製造業PMI 9日:中国4月貿易収支	9日:3月家計調査、3月毎月勤労統計
11日:4月生産者物価指数(PPI) 12日:5月ミシガン大学消費者センチメント指数 16日:4月小売売上高、4月鉱工業生産	<b>11日:イングランド銀行金融政策委員会</b> 、イギリス1-3月期GDP 15日:ユーロ圏3月鉱工業生産 16日:ユーロ圏3月貿易収支	11日:中国4月PPI・CPI <b>16日:中国4月小売売上高、4月鉱工業生産、4月固定資産投資</b> 18日:豪州4月雇用統計、メキシコ金融政策決定会合	11日:3月国際収支、4月景気ウォッチャー調査 15日:4月企業物価指数 <b>17日:1-3月期GDP</b> 18日:4月貿易収支 19日:4月全国CPI <b>19-21日:G7広島サミット</b>
23日:5月製造業・非製造業購買担当者景気指数(PMI) 24日:FOMC議事要旨 26日:4月個人所得、4月個人支出(PCE)、 <b>4月PCEデフレーター</b> 30日:3月S&Pコアロジック・ケースシラー住宅価格指数、5月コンファレンスボード消費者信頼感指数	22日:ユーロ圏5月消費者信頼感指数 23日:ユーロ圏4月PMI 24日:イギリス4月CPI、ドイツ4月IFO企業景況感指数	25日:トルコ金融政策決定会合 31日:中国5月製造業、非製造業PMI	22日:3月機械受注 26日:4月企業向けサービス価格指数、5月東京都都区部CPI 30日:4月失業率、4月有効求人倍率 31日:4月小売業販売額、4月鉱工業生産

(注) 2023年4月24日現在。日付は現地時間。(出所) 各種報道等を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

**ここも  
チェック!**
**2023年4月11日 主要な資産の利回り比較（2023年3月）**  
**2023年3月29日 2023年4月の注目イベント**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。